

平成 28 年度 第 3 回 大和高田市シビックコア周辺地区まちづくり意見交換会
議事要旨

日 時：平成 29 年 3 月 22 日（水）14：00～15：00

場 所：大和高田市役所 4 階 合同委員会室

出席者：別紙のとおり

1. 開会

副市長あいさつ

事務局より、委員総数の 3 分の 2 以上が出席しているため、会議が成立するとの報告を行った。

2. 意見交換会

議事 1. 市民ワークショップ開催結果報告について

事務局より、資料 1 の「第 2 回市民ワークショップ開催結果報告」及び資料 2 の「第 3 回市民ワークショップ開催結果報告」について説明を行った。

【質疑応答事項】

<松田会長>

ワークショップでは、事務局案の構想図を含む案を示した上で意見を聞いたのか。

<事務局>

その通り。

<松岡副会長>

第 3 回のワークショップの作業では、事務局で示されたゾーニングを含めた構想図を使用しているが、この案に対して意見はあったか。

<事務局>

案自体には、反対といった意見は出なかった。

<松田会長>

提案のとおりで良いということか。

<事務局>

その通り。

議事 2. まちづくり基本構想案について

事務局より、資料 3 の「シビックコア周辺地区まちづくり基本構想案説明資料」について説明を行った。

【質疑応答事項】

<松田会長>

質問、意見はあるか。

<本村委員>

ワークショップの結果、アイデアや意見を反映しているのか。それがあれば紹介してほしい。また、今後活用したいアイデアなどがあれば、教えてほしい。

<事務局>

第2回ワークショップ報告 p.11 のイベントの項目では、桜華殿の利用について提案がある。また、その他の事項の中の河川敷、まちの駅や市役所跡地というところで、文化レクリエーション拠点に関するにぎわい創出という提案がある。アクセス環境についても、幹線道路や駐車場の整備、循環バスの提案があり、これらの提案について構想案の中に盛り込んでいる。

<本村委員>

(計画検討と市民の意見を聞くことを) 並行してやっているのは、重要なことである。今後、基本計画を実現していくには、たくさんの人の参画が必要で、市民が参画して計画に意見を反映しているということをしっかり説明していくことが大切だと思う。

第3回ワークショップでは、興味を持っている構想の内容について聞いている。今回対象の大中公園や、行政施設のオープンスペース活用など賑わいをつくるのには大切なことなので、ワークショップに参画していただいた方も含め市民活動の醸成へとつないでいていただければと思う。

<松田会長>

ワークショップの開催には、三井田先生に大変お世話になった。

ワークショップの意見を踏まえて、現在の構想案になっていると思う。P11 の全体のコンセプトをまとめているが、このあたりについての意見はないか。

<松岡副会長>

P12 で行政界、字界といったものをもとに地区が明確に示されている。第3回ワークショップ資料では、地区界のアウトラインはやわらかい形となっている。基本構想の中ではしっかりとした区域界で示す必要があるが、この区域界については、パブリックコメントなどで市民に聞くことを予定しているのか。

<事務局>

シビックコアのまちづくりについてのパブリックコメントは、予定していない。ただ、今後基本計画を策定するにあたって、この意見交換会を平成 29 年度に3回開催する予定にしている。また同時に、市民ワークショップも3回開催の予定である。

ワークショップでは、第2回の意見交換会で示した大まかなラインの地区界を提示した。しかし、最終の基本構想図では、区域界が田んぼの真ん中をよぎるということではできないので、道路、水路、字界などで区分した。今回、区域界を含め基本構想図について承認いただければ、ワークショップ参加者に、最終の基本構想図において明確な区域界を決定したことの説明に配慮します。

<松岡副会長>

基本計画を考えるときには、この区域内について検討するということか。

<松田会長>

その通りだと思う。

<三井田アドバイザー>

このゾーニングで、ずいぶんとイメージがはっきりとしてきた。

交通についての現況の記述がある。この地区は、3つの鉄道駅からのアクセスができるという特徴がある。3つの駅から何とかこの地区に引き込むようなアクセスに関してこの構想の中に示すことができたらと思う。また、周辺の3つの地区のまちづくり構想との関係が必要であると考ええる。

<松田会長>

近鉄やJRの鉄道駅があり、またコンパクトな市街地が形成されている。その中で、各地区の連携や、それぞれのゾーンが近い立地にあることについての配慮が必要であろう。人の動線確保、人を誘導し合うということを含め、立地適正化計画との関係も踏まえながらの検討になるかもしれないが、事務局はどう考えるか。

<事務局>

今の意見も踏まえながら、p.12の構想図にも近鉄大和高田駅・JR高田駅周辺地区、近鉄高田市駅周辺地区、常光寺池公園周辺地区のゾーンを示しており、この4地区が密接に関連しているということで、当然道路環境であったり、歩行者の安全確保であったり、そのあたりも含めて考えていくべきと考えている。

<木村委員>

駅からという話があったが、県内で推進している取り組みとして、バリアフリー基本構想という取り組みがあり、駅などを中心に面的なバリアフリーを検討していくというものである。利用者の多い駅、行政施設や病院も含めて面的エリアを定め、その間を結ぶ経路を決めて、そこに重点投資をしていくという制度である。これは、公共の道路だけではなく、駅や施設を含めてバリアフリー化を図るというものであり、こういう制度をうまく活用していきながら検討してはどうかと思う。

<松田会長>

行政側からは意見はないか。

ないようですので、委員の皆さまからの貴重な意見をもとに、まちづくり基本構想としてまとめます。なお、新庁舎策定委員会において、新庁舎の位置が決まり次第、構想図にその位置を明記し、しかる後に奈良県とまちづくり基本協定の締結を進めていきたいと考えている。3回にわたりご意見をいただき、ありがとうございます。

最後に事務局から何かあれば。

<事務局>

基本構想の策定はこれで終了となるが、構想の次に基本計画についての意見交換会を進

めていきたいと考えているので、協力をお願いします。

開催日程については、県とのまちづくり基本協定の締結を9月末から10月初旬に予定しているので、その後に平成29年度第1回の基本計画の検討についての意見交換会を開催したいと考えている。

<松田会長>

以上をもって、本日の第3回大和高田市シビックコア周辺地区まちづくり意見交換会を終了する。

以上